

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【公開番号】特開 2019-100607 (P2019-100607A)  
 【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-024  
 【出願番号】特願 2017-231143 (P2017-231143)  
 【国際特許分類】

**F 2 3 R 3/28 (2006.01)**

**F 0 2 C 7/18 (2006.01)**

**F 2 3 R 3/32 (2006.01)**

【F I】

F 2 3 R 3/28 B

F 0 2 C 7/18 Z

F 2 3 R 3/32

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 12 日 (2020.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 2】

燃料噴射器 1 2 0 は、第 1 のプレート部 8 3 のうち、溝 9 2 と対向する部分を貫通する貫通孔 1 1 1 を有すること以外は、本実施形態の燃料噴射器 5 0 と同様に構成されている。

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 3】

このような構成とされた貫通孔 1 1 1 を有することで、貫通孔 1 1 1 を流れる冷却空気 C A により第 1 のプレート部 8 3 の内部から第 1 のプレート部 8 3 を冷却させることが可能になるとともに、貫通孔 1 1 1 から吐出された冷却空気 C A により、第 1 のプレート部 8 3 の面 8 3 b を冷却させることが可能となる。これにより、第 1 のプレート部 8 3 を非常に効率良く冷却させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 4】

次に、図 1 4 を参照して、本実施形態の第 2 変形例に係る燃料噴射器 1 2 0 について説明する。図 1 4 では、燃料噴射器 1 2 0 の一部を拡大した状態で図示する。図 1 4 において、図 1 2 に示す構造体と同一構成部分には同一符号を付す。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 9 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 9 5 】

燃料噴射器 1 1 0 は、第 2 のプレート部 8 4 よりも第 1 のプレート部 8 3 の厚さを厚くするとともに、第 1 のプレート部 8 3 に冷却流路 9 1 ( 溝 9 2 ) を設けたこと以外は、本実施形態の燃料噴射器 5 0 と同様に構成されている。このように、第 1 のプレート部 8 3 に冷却流路 9 1 ( 溝 9 2 ) を設けてもよい。